

平成26年3月17日

保護者 様

尼崎市立浜田小学校

校長 黒田 千秋

### 平成25年度全国学力・状況調査について

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、また、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に行われました。小学校6年生の児童を対象に、国語・算数の2教科について、前学年までの指導内容を原則に実施されました。ただ、本調査により、測定できるのは、学力の特定の一部で、学校における教育活動の一側面に過ぎません。しかしながら、学校としましては、結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。

#### 1. 各教科の概要

##### (1)国語

全国平均を下回っています。

##### (2)算数

全国平均を下回っています。

#### 2. 各教科の観点別・領域別の状況（全国平均との比較）

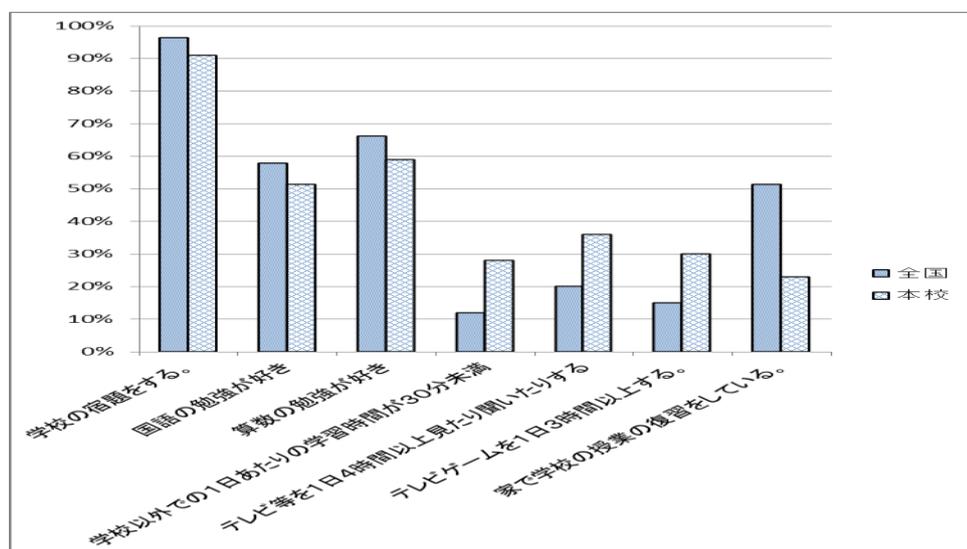
【国語】観点別では、「話す・聞く」、「書く」、「読む」、「言語事項」とも全国平均より低い結果です。領域別では、「言語についての知識・理解・技能」については、ほぼ全国平均に近づきつつあります。

【算数】観点別では、「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」とも全国平均より低い結果です。領域別では、「数量や図形についての技能」については、ほぼ全国平均と同じレベルです。

#### 3. 学校や家庭での子どもの様子や意識

学校生活や家庭生活での学習の様子や子どもの意識を表したものが、下記のグラフです。「国語の勉強は好き・算数の勉強が好きと答えている児童の割合」がそれぞれ半数以上になっています。また、「ほぼ毎日家で宿題をする児童」の割合は91%とそれらの

項目は、ほぼ全国と同レベルになっています。その反面、「家で授業の復習をどちらかといえばしている」（本校 23%・全国平均 51.4%）、「学校の学習時間以外に1日あたりの学習時間が30分未満」（本校 28.2%・全国平均 12.2%）、「テレビ・DVD等の視聴時間が4間以上」（本校 35.9%・全国平均 20%）、「1日あたりのテレビゲームをする時間が3時間以上」（本校 29.5%・全国平均 14.9%）の各項目については、全国平均との差があり、課題があります。自分で学習する習慣を身に付けること、授業の内容を復習することは、子ども達の学力を向上させることにつながります。家庭学習の時間を確保するために、テレビの視聴時間やゲームの時間を減らす努力も必要です。復習については、学校の宿題以外にもその日の授業で考えたこと・先生が話したこと・友達の発表したこと等をノートに書きだして思い返してみるのも1つの方法です。



#### 4. 本校の取組について

##### (1) きめ細かな教育体制を充実させる

本年度高学年において兵庫県の施策である新学習システムを活用し、算数を少人数に分けて学習を実施しました。来年度においても引き続き活用し、子ども達に対してきめ細かな学習を実施していきたいと考えています。さらに、子ども達の興味・関心を高めていくため、授業の創意工夫に努めていきたいと考えています。

##### (2) 学習習慣を身に付ける

本年度も引き続き、低・中学年を対象に週1回放課後学習として放課後学習指導員を配置して子ども達の宿題をサポートする機会を設け、学習習慣を身に付ける一助としての取組を行いました。来年度についても、引き続き行っていきたいと考えています。